

指定避難場所

避難場所の確認をしておきましょう

◎ 風水害時・一時避難場所

福島地区	笠祇小学校、桂原地区研修センター、穂佐ヶ原研修施設、霧島地区集落センター、福島中学校、福島高校、福島小学校、申間市役所、松尾集落センター、市総合体育館、市中央公民館、高松公民館、有明小学校、正国寺、金谷小学校、下弓田公民館、市総合運動公園
北方地区	秋山小学校、東上池集落センター、西上池公民館、北方中学校、北方農村研修センター、北方小学校
大東地区	徳山公民館、白坂公民館、井牟田公民館、上大矢取公民館、赤池活性化センター、広野集落センター、大平小学校、大平集落センター、中原営農研修施設、三幸ヶ野集落センター、大重野集落センター、高則集落センター、三ヶ平公民館、大東中学校、揚原集落センター、一氏公民館、市ノ瀬公民館、虎浜寺、仲別別宮農研修施設、堂園集落センター、西ノ園集落センター、烏帽子野公民館、上園田集落センター、下園田研修施設、大東地区中央公民館、小山集落センター、石木田集落センター、大東小学校
本城地区	下千野集落センター、中千野集落センター、港公民館、崎田多目的集会施設、永田公民館、本城小学校、本城中学校、本城公民館、小田代公民館、道場公民館、中園公民館、口広公民館、居城田公民館、遍保ヶ野公民館
都井地区	大納小学校、都井小学校、都井基幹集落センター、都井中学校、黒井公民館、岬公民館
市木地区	築島集会所、海北公民館、藤公民館、石原公民館、内ノ畑集落センター、市木小学校、市木中学校、市木支所、石波公民館、漁民研修センター、郡司部公民館

◎ 地震災害時・広域避難場所

笠祇小学校、秋山小学校、北方中学校、福島中学校、福島高校、福島小学校、北方小学校、市総合運動公園、市総合体育館、市中央公民館、有明小学校、望洋の郷、金谷小学校、本城小学校、本城中学校、赤池活性化センター、大平小学校、大東小学校、大東中学校、市木小学校、市木中学校、市木多目的広場、大納小学校、都井中学校、都井小学校、総合保健福祉センター

◎ 避難に関する情報

避難の区分	市からの呼びかけ内容(例)	とるべき行動
避難準備情報	〇〇地区のみなさん、大雨により河川が増水しています。危険が予想されますので、避難の準備をしてください。	洪水注意報が発令されたら避難の準備を始めてください。体の不自由な方、お年寄りや子どもは、早めに避難させましょう。
避難勧告	〇〇地区の皆さん、河川の水位が急激に上昇して危険な状態です。速やかに避難してください。	お互い助け合って、指定された避難所に、速やかに避難しましょう。
避難指示	〇〇地区のみなさん、河川の水堤防が決壊する危険があります。ただちに避難所に避難してください。	指定された避難所に、ただちに避難しましょう。道路に水があふれ避難できない場合は、2階以上の高い建物に一時避難して救援を待ちましょう。

- ・家族や近隣者に声をかけ合い、そろって避難する。
- ・避難経路はがけ下などの危険な場所は避け、遠回りになっても安全な道を選ぶ。
- ・日ごろから非常時への備えをしておきましょう
- ・飲料水Ⅱペットボトル入りのミネラルウォーター。
- ・非常食Ⅱカンパンや缶詰など

- ・調理せずに食べられるもの。
- ・懐中電灯Ⅱ停電時や夜間には欠かせません(予備電池も必要)。
- ・携帯ラジオ
- ・救急薬品、常備薬
- ・防災・防犯情報メールサービス

県では、防災・防犯情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信しています。各市町村からの防災情報、宮崎県警からの防犯情報、各消防本部(局)からの消防情報の配信、そのほか、気象情報(注意報・警報)、地震情報、津波情報、台風情報、火山情報の自動配信、震度5以上の地震や、津波到達時には自分の安全を知らせることができる安否確認メールもご利用いただけます。



▲QRコード
(<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/>)

- ・申し込み方法Ⅱバーコード読み取り機能が付いている携帯電話をお持ちのかたは、次のQRコードをご利用ください。
- ・また、宮崎県庁ホームページの「災害情報」(<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/>)からも登録できます。

●防災に関する問い合わせ先Ⅱ
総務課危機管理係 ☎内線316



平成18年7月の集中豪雨による被害(大東地区・三ヶ平～三幸ヶ野間)

災害に対する 心構えを持ちましょう

日ごろから災害に備えるとともに、災害の前兆を確認したら、たとえ無駄になっても早めに避難をするようにしましょう。

これから迎える梅雨から台風シーズンにかけては、一年のうちでも降雨量が多く土砂災害が最も発生しやすい時期です。避難経路や避難場所を確認したり、非常用品を準備したりするなど日ごろからの備えが大切です。危ないと思ったら早めに避難するようにしましょう。

風水害対策

台風、豪雨、洪水は地震と違い、事前に規模や襲来時期をある程度予測することができません。正確な情報をいち早くキャッチして、万全の対策をとり、被害を最小限にとどめましょう。

台風・大雨に備えて

屋根、外壁、窓ガラスなどを

普段から点検し、補修しておきましょう。

- ・アンテナ、看板などは補強しておくようにしましょう。
- ・住宅付近の地形、道路などをよく見ておき、危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。

台風・大雨が近づいてきたら

- ・ラジオ、テレビなどの気象情報や、市が流す防災関係の情報に注意しましょう。
- ・外出先から早く帰宅し、家族全員と連絡を取り合います。
- ・停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオなどを用意しておきましょう。

- ・ベランダにある植木鉢、物干し竿など飛散の危険が高いものは室内に取り込みましょう。
- ・がけ地付近の人は、大雨が続くと地盤がゆるみ、がけ崩れの起こるおそれがありますので、十分注意しましょう。
- ・川の付近に住んでいる人は、川の増水に注意しましょう。

危険な前兆に注意しましょう

次のような災害の前兆を確認したら、たとえ無駄になっても早めに避難をするようにしましょう。避難が遅れると状況がさらに悪化して避難が困難になるおそれがあります。

土砂災害の主な前兆現象

①土石流

- ・山鳴りがする。
 - ・急に川が濁り流木が混ざる。
 - ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
 - ②がけ崩れ
 - ・がけに割れ目が見える。
 - ・がけから水が湧き出ている。
 - ・がけから小石が落ちてくる。
 - ・木の根が切れる音がする。
 - ③地すべり
 - ・沢や井戸の水が濁る。
 - ・地面にひび割れができる。
- 避難するときに気をつけることは
- ・服装は動きやすいもので。
 - ・非常時持ち出し品は両手が自由に使えるように背負う。
 - ・火の始末や戸締りを行う。

